

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信

vol.153

発行：令和 5 年 10 月 14 日 袋井市教育委員会

地域のために貢献できることは何か考える ～袋井中 3 年生が防災体験学習～



災害時の中学生ボランティア育成

【洪水に備えた土嚢づくり体験をする＝袋井中学校】

袋井中 3 年生が、総合的な学習「地域に貢献する」の一環として、地域に駐在する自衛隊員の協力を得た防災体験学習を行いました。体験を通して防災意識を高め、地域のために貢献できることは何かを考えることや、災害時の実践力を高めることがねらいです。ロープの結び方訓練、防災講話など 4 つのコースに分かれて学習しました。洪水を想定した土嚢づくり体験では、頑丈に土嚢を作るための留意点を教わりながら真剣に取り組む姿が見られました。

生徒たちは「災害が起こったら、自分が何をすべきか分かった」「今日学んだことをもとに家族と話し合い、周囲の皆の意識も高めたい」などと話していました。



【人命救助のためのロープ結びの指導を受ける】

※WEB サイト「ふくろい教育ドットコム」の URL ならびに QR コードはコチラ

<https://fukuroi-kyouiku.com>

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

